いわて県民計画
(2019~2028)

計画の理念

この計画では、「いわて県民計画」の成果を引き継ぎつつ、県民一人ひとりがお互いに支え合いながら、幸福を追求していくことができる地域社会の実現を目指し、幸福を守り育てるための取組を進めていきます。

そのためには、県はもとより、県民、企業、NPO、市町村など、地域社会を構成するあらゆる主体が、それぞれ主体性を持って、共に支え合いながら、地方の暮らしや仕事など、岩手県の将来像を描き、その実現に向けて、みんなで行動していくことが大切です。

また、社会的に弱い立場にある方々が、地域や職場、家庭などでのつながりが薄れることによって孤立することのないように社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン※）の観点に立った取組を進めることも重要です。

※**ソーシャル・インクルージョン**　全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うという理念。

基本目標

東日本大震災津波の経験に基づき、
引き続き復興に取り組みながら、
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて

基本目標の考え方

◆ この計画は、東日本大震災津波からの復旧・復興の取組の中で、学び、培った経験を生かすものとします。

◆ この計画のもと、引き続き復興に取り組み、一日も早い安全の確保、暮らしの再建、なりわいの再生を目指すとともに、東日本大震災津波の教訓を未来に向けて伝承・発信していきます。

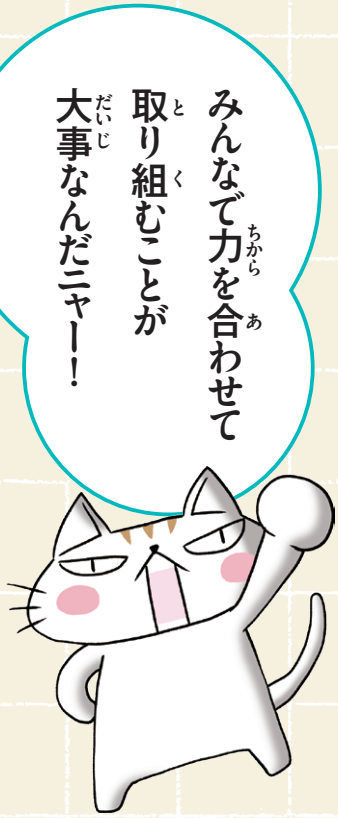
◆ また、復興の実践で培われた一人ひとりの幸福を守り育てる姿勢を復興のみならず、県政全般に広げ、県民相互に、さらには、岩手県と関わりのある人々がお互いに幸福を守り育てる岩手を実現します。

◆ そのような岩手が、全ての県民が希望を持つことのできる「希望郷いわて」になります。

復興推進の基本方向

三陸のより良い復興（Build Back Better）の実現に向けた取組を推進していきます。

「東日本大震災津波からの復興に向けた基本方針」に位置付けた2つの原則「被災者の人間らしい『暮らし』『学び』『仕事』を確保し、一人ひとりの幸福追求権を保障すること」、「犠牲者の故郷への思いを継承すること」を引き継ぎ、この計画に基づく政策の推進や地域振興の展開と連動しながら、取組を推進していきます。



復興の目指す姿

future vision

いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造

復興の推進に当たって重視する視点

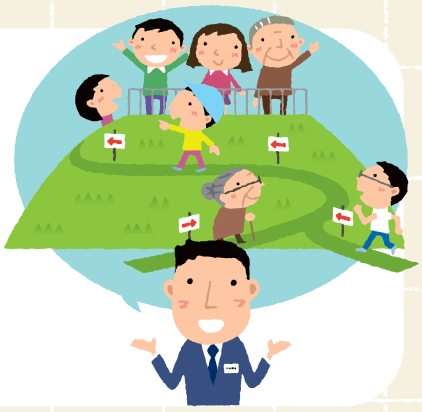
1 参画 ～若者・女性などの参画による地域づくりを促進します～

2 交流 ～人やモノの交流の活発化による創造的な地域づくりを促進します～

3 連携 ～多様な主体が連携し、復興などの取組を推進します～

「より良い復興～4本の柱～」と取組方向

1 安全の確保



津波により再び人命が失われることのないよう、多重防災型まちづくりや災害に強いライフラインの構築などにより、災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくりを推進します。

また、災害に強い交通ネットワークを構築し、住民の安全を確保します。

2 暮らしの再建

住宅や仕事の確保など、被災者一人ひとりの生活の再建を図ります。

また、医療・福祉・介護体制など生命と心身の健康を守るシステムや教育環境の再構築、地域コミュニティ活動への支援などにより、地域における生活の再建を図ります。

3 なりわいの再生

生産者や事業者が意欲と希望を持って生産・事業活動を行えるよう、生産体制の構築、金融面や制度面の支援などにより、農林水産業、商工業など地域産業の再生を図ります。

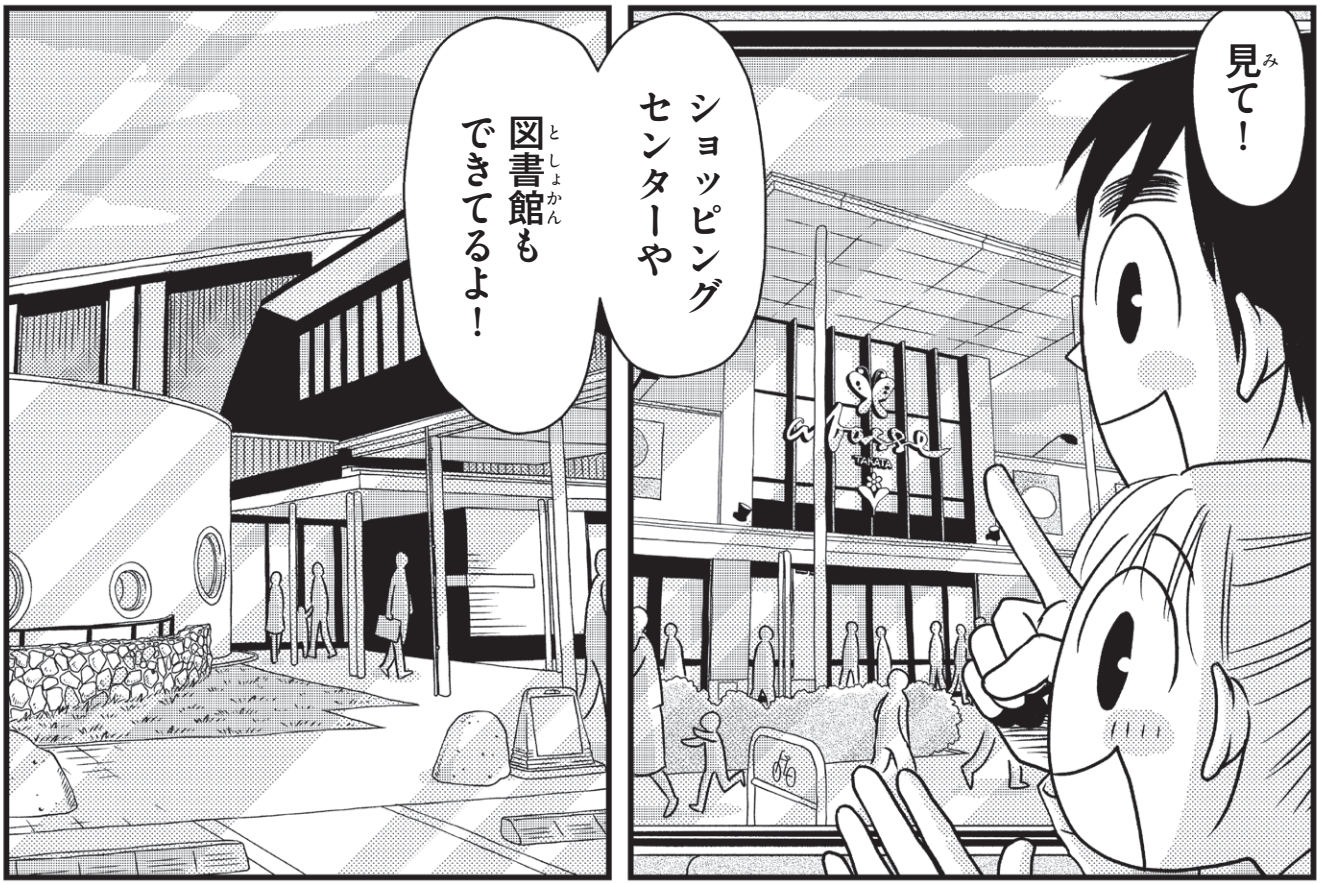
また、地域の特色を生かした商品やサービスの創出、高付加価値化や生産性向上などの取組を促進するほか、新たな交通ネットワークによる物流効果を生かして地域経済の活性化を図ります。

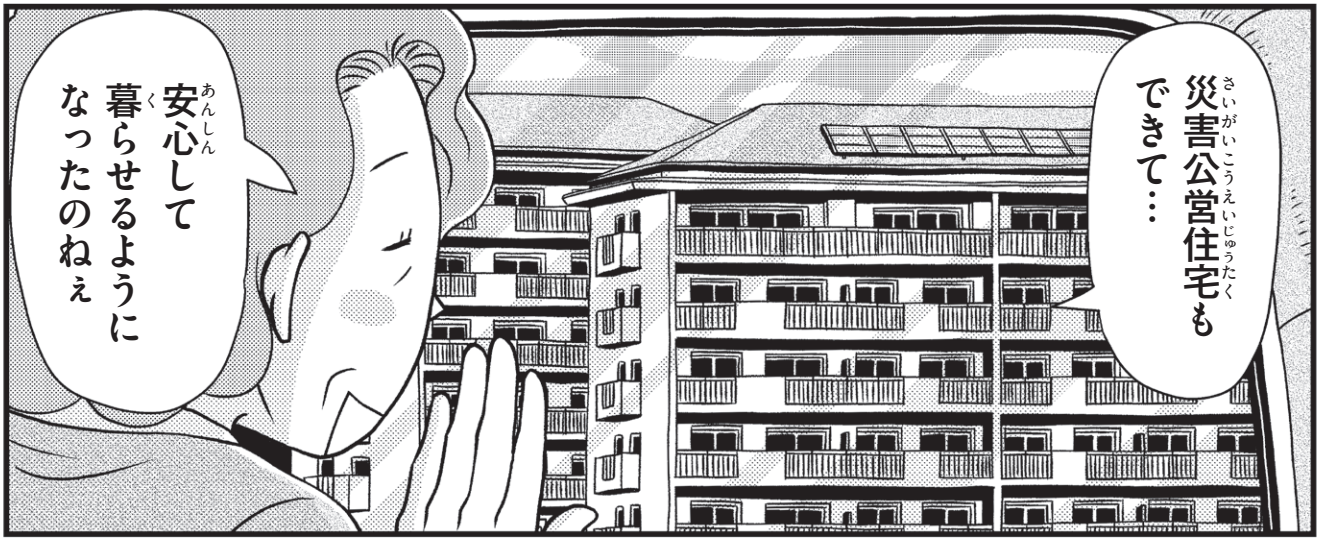
4 未来のための伝承・発信

日本を代表する震災津波学習拠点として東日本大震災津波伝承館を整備し、東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓を伝承し、その教訓を防災文化の中で培っていきます。

また、復興の姿を国内外に発信することにより、将来にわたり復興への理解を深めていきます。

今日は
家族で
ドライブ
陸前高田市に
来ました
陸前高田の
街並みもずいぶん
変わったわねぇ
そうだ
なぁ
5年前に来たときは
かさ上げ工事の
真っ最中だった
からなぁ


見て！
ショッピング
センターや
図書館も
できてるよ！

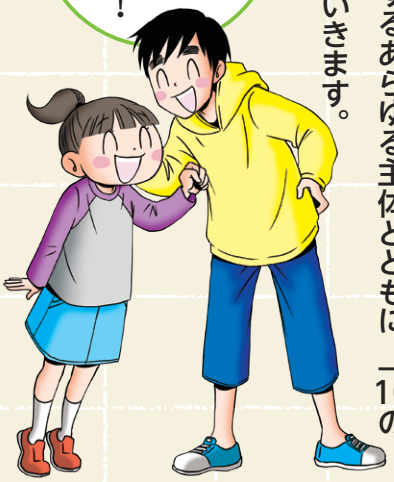

災害公営住宅も
できて…
安心して
暮らせるように
なったのねぇ

さあ
復興祈念公園に
着いたぞ
ここには震災の記憶や
教訓を伝えるために
作られた東日本大震災
津波伝承館が
あるんだよ
へー
高田松原津波復興祈念公園
こんなに
大きな津波が
来たなんて…
怖いね…
学校でも震災について
勉強したけど
実際に被災した様子を
見ると違うね
自分の命を守るのは自分って
あらためてわかったよ
岩手では震災の
経験を学んで
活かせるように
防災教育や
啓発活動に
力を入れて
いるんだよ
幸太も
幸奈も
今日感じたことを
友達に教えて
あげるといいぞ
そうする！
災害時に
どう行動するか
我が家でも
話し合って
おきたいね！
うちの
防災担当は
幸太！
しっかり
頼むぞ！
まかし
といて！
よっ、コータ
しゃきーん

政策推進の基本方向

「10の政策分野」のもと一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開していきます。

県民一人ひとりがお互いに支え合いながら、幸福を追求していくことができる地域社会を実現していくため、多様性の視点や社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の視点を重視しながら、地域社会を構成するあらゆる主体とともに、「10の政策分野」の取組を展開していきます。



❶健康・余暇	❷家族・子育て	❸教育	❹居住環境・コミュニティ	❺安全	❻仕事・収入	❼歴史・文化	❽自然環境
❾社会基盤							
❿参画							

1 健康・余暇

健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手を目指します。

生涯を通じた心身の健康づくりを進め、地域の保健医療提供体制の充実や福祉コミュニティづくりなどにより、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、こころと体の健康を実感でき、また、文化芸術活動やスポーツ活動、学びの機会を充実することにより、余暇の充実を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

2 家族・子育て

家族の形に応じたつながりや
支え合いが育まれ、また、安心して
子育てをすることができる岩手を目指します。

従来の形に捉われない様々な家族の形態において、それぞれが大切な人とのつながりや支え合いを確保できる環境づくりを進めることにより、共につながり、支え合う良好な家族関係を実感でき、また、結婚や出産、子育てなどの環境づくりを進めることにより、家庭や地域で、子どものいきいきとした成長を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

3 教育

学びや人づくりによって、
将来に向かって可能性を伸ばし、
自分の夢を実現できる岩手を目指します。

学校教育の充実や国際交流、文化・スポーツ、産業などの様々な分野での人づくりを進めることにより、将来を担う子どもたちの心豊かな学びや生きる力の高まりを実感でき、国内外や地域社会の様々な分野で活躍する人材が育っていると実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

4 居住環境・コミュニティ

不便を感じないで日常生活を送ることができ、
また、人や地域の結び付きの中で、
助け合って暮らすことができる岩手を目指します。

居住環境の整備や日常生活に必要不可欠な交通手段の確保などにより、住まいの快適さや暮らしやすさを実感でき、また、多様な主体の連携や異なる文化、県内外の人的・経済的な交流などにより、暮らし続けたい、帰りたいと思える地域のつながりを実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

5 安全

災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、
事故や犯罪が少なく、安全で、安心を
実感することができる岩手を目指します。

災害に対する十分な備えや、犯罪、交通事故が起こりにくい環境づくりに取り組むとともに、食の安全の確保や感染症の予防対策などを進めることにより、地域の安全や暮らしの安心を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

6 仕事・収入

農林水産業やものづくり産業などの活力ある
産業のもとで、安定した雇用が確保され、
また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手を目指します。

岩手県の地域経済を支える中小企業、地域経済をけん引する自動車や半導体関連産業をはじめとするものづくり産業、地域の特性や資源を活用した産業、幅広い分野に波及効果をもたらす観光産業、岩手県の基幹産業である農林水産業などの産業政策を総合的に展開し、一人ひとりの能力を発揮できる多様な雇用の確保を進めることにより、希望する仕事に就き、安心して働きながら、仕事のやりがいを実感でき、また、経済基盤の高度化や生産性の向上を図ることにより、必要な収入や所得が得られていると実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

7 歴史・文化

豊かな歴史や文化を受け継ぎ、
愛着や誇りを育んでいる
岩手を目指します。

世界遺産の保存と活用を進め、また、過去や現在から未来に引き継ぎたい地域の歴史や伝統文化を学び、受け継ぐことにより、岩手や地域への誇りや愛着を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

8 自然環境

一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、
自然の豊かさとともに暮らすことができる
岩手を目指します。

良好な自然環境の保全や循環型地域社会の形成、再生可能エネルギーの導入をはじめとする地球温暖化対策などを進めることにより、自然に恵まれていることを実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

9 社会基盤

防災対策や産業振興など幸福の追求を
支える社会基盤が整っている
岩手を目指します。

社会経済活動や教育・研究の土台となる情報通信技術の活用、科学の振興、産業や暮らしを支える社会資本の整備など、8 つの政策分野を支える基盤の強化により、地域の魅力を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

10 参画

男女共同参画や若者・女性、高齢者、
障がい者などの活躍、幅広い
市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手を目指します。

男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などが活躍できる仕組みづくり、NPO や関係団体等の多様な主体による幅広い市民活動や県民運動の促進など、8 つの政策分野を支えるソフトパワーの強化により、地域の魅力を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

また、これらの取組の展開に当たっては、岩手県の魅力の国内外への情報発信や市町村との連携の推進などの視点も重要です。

新しい時代を切り拓くプロジェクト

新しい時代を切り拓く11のプロジェクトを掲げ戦略的、積極的に推進していきます。

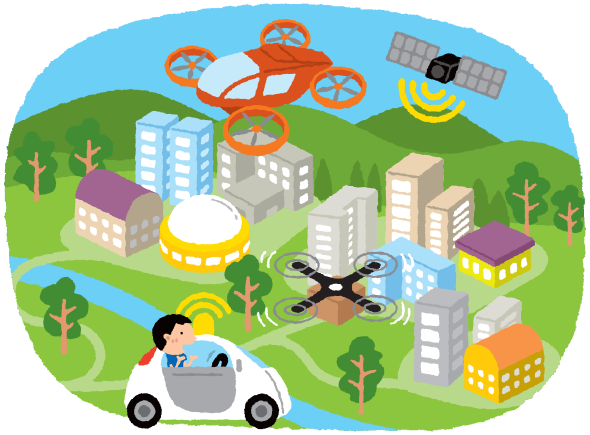
10年後の将来像の実現をより確かなものとし、さらに、その先を見据え、長期的視点に立ち、岩手らしさを生かした新たな価値・サービスの創造などの先導的な取組を進めていきます。

1 ILC（アイエルシー）プロジェクト

国際リニアコライダー(ILC)の実現により、世界トップレベルの頭脳や最先端の技術、高度な人材が集積されることから、イノベーションを創出する環境の整備などを進めることにより、知と技術が集積された国際研究拠点の実現を目指します。

2 北上川（きたかみがわ）バレープロジェクト

県央・県南広域振興圏にまたがる北上川流域において、広域的な連携の更なる促進や、第4次産業革命技術のあらゆる産業分野、生活分野への導入などを通じ、働きやすく、暮らしやすい、21世紀の先行モデルとなるゾーンの創造を目指します。



3 三陸防災復興ゾーンプロジェクト

東日本大震災津波からの復興の取組により大きく進展したまちづくりや交通ネットワーク、港湾機能などを生かした地域産業の振興を図るとともに、国内外との交流を活発化することで、岩手県と国内外をつなぐ海側の結節点として持続的に発展するゾーンの創造を目指します。

4 北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

特徴的な産業の振興や交流人口の拡大、再生可能エネルギー資源の利用促進など、北いわてのポテンシャルを最大限に発揮させる地域振興を図るとともに、人口減少と高齢化、環境問題に対応する社会づくりを一体的に推進し、持続的に発展する先進的なゾーンの創造を目指します。

5 活力ある小集落実現プロジェクト

人や地域のつながりが大切にされている岩手県の風土を土台としながら、第４次産業革命技術や遊休資産を生かした生活サービスの提供、人材・収入の確保、都市部との交流の促進など、住民主体の取組の促進を通じて、活力ある地域コミュニティの実現を目指します。

6 農林水産業高度化推進プロジェクト

情報通信技術(ICT)やロボット等の最先端技術を最大限に活用した生産現場のイノベーションによる飛躍的な生産性の向上、農林水産物の新たな価値の創出等の取組を通じて、農林水産業の高度化を推進し、収益性の高い農林水産業の実現を目指します。

7 健幸づくりプロジェクト

県立病院・大学等で保有する医療データや健診機関で保有する健診データ等を生かし、健康・医療・介護データを連結するビッグデータの連携基盤を構築し、その活用を通じて、健康寿命が長くいきいきと暮らすことのできる社会の実現を目指します。

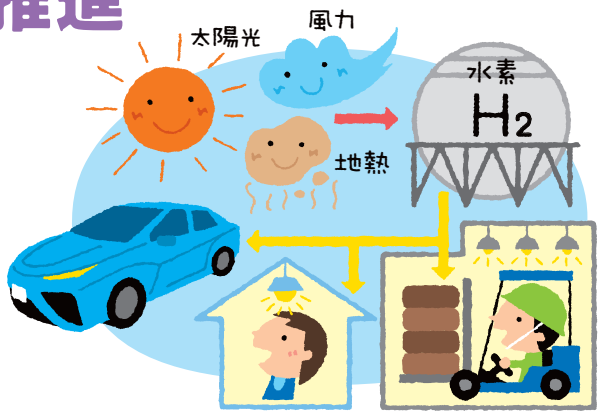
8 学びの改革プロジェクト

人工知能(AI)をはじめとする第４次産業革命技術を活用し、就学前から高校教育までの質が高く切れ目のない教育環境の構築を通じて、新たな社会を創造し、岩手県の未来をけん引する人材の育成を目指します。

9 文化・スポーツレガシープロジェクト

岩手県が誇る世界遺産や多彩な民俗芸能、文化芸術・スポーツへの関心の高まりを、次の世代につなげていくため、官民一体による推進体制の構築などにより、県民が日常的に文化芸術やスポーツに親しみ、楽しみ、そして潤う豊かな社会の実現を目指します。

10 水素利活用推進プロジェクト



岩手県の豊富な再生可能エネルギー資源を最大限に生かし、再生可能エネルギー由来の水素を多様なエネルギー源の一つとして利活用する取組を通じて、低炭素で持続可能な社会の実現を目指します。

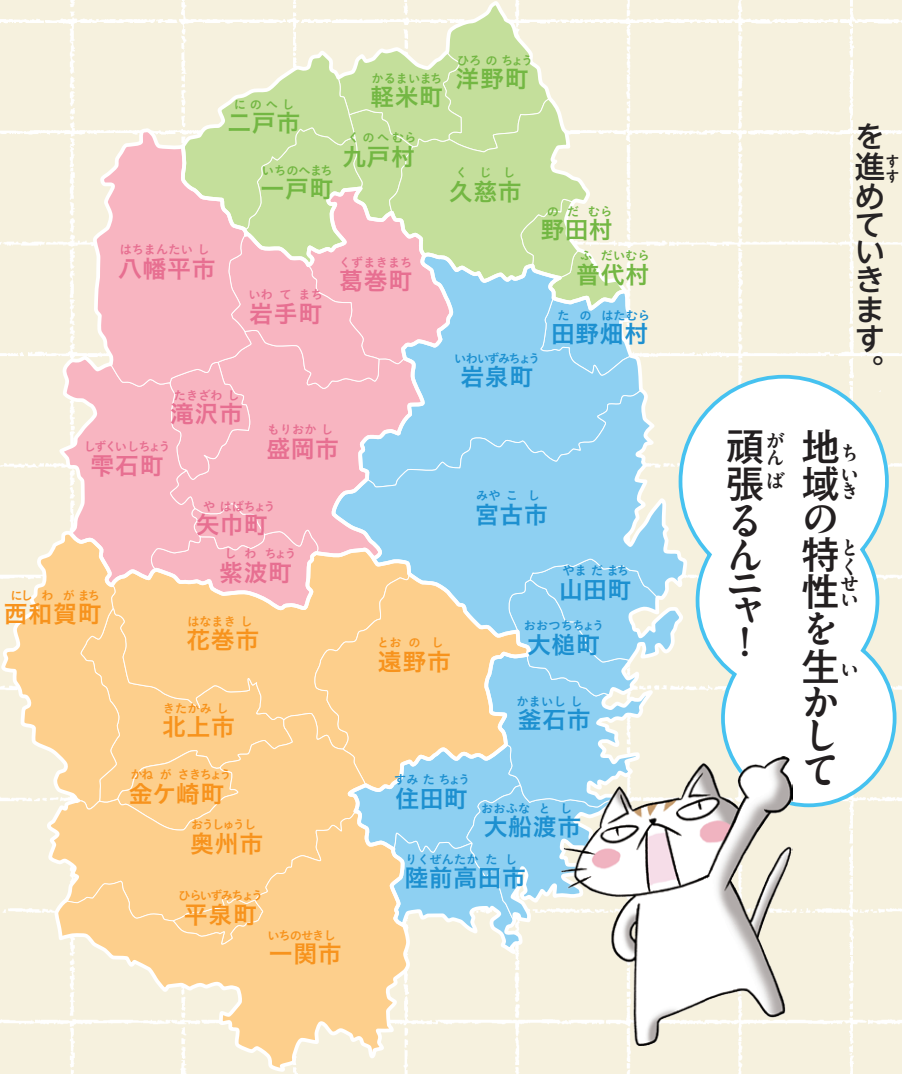
11 人交密度向上プロジェクト

第4次産業革命技術を活用して、岩手県の地域や人々と多様に関わる「関係人口」の質的・量的な拡大を図り、世界中がいつでも、どこでも岩手県とつながる社会を実現し、関係人口の継続的かつ重層的なネットワーク形成などによる「人交密度」の向上を目指します。

＼ 新しい時代を切り拓くプロジェクト ／

地域振興の展開方向

住民に身近なサービスは、市町村が担うことを基本としつつ、より広域的な視点から、4広域振興圏の振興を進めるとともに、県民一人ひとりの幸福を守り育て、持続可能な地域社会を築いていくため、各地域の特性を十分に踏まえた取組を進めていきます。



県央広域振興圏

【目指す姿】

県都を擁する圏域として、産業・人・暮らしの新たなつながりを生み出す連携の深化により求心力を高め、東北の拠点としての機能を担っている地域

県北広域振興圏

【目指す姿】

多様かつ豊富な資源・技術、培われた知恵・文化を生かし、北東北、北海道に広がる交流・連携を深めながら、新たな地域振興を展開する地域

県南広域振興圏

【目指す姿】

人とのつながり、県南圏域の産業集積や農林業、多様な地域資源を生かしながら、暮らしと産業が調和し、世界に向け岩手の未来を切り拓く地域

沿岸広域振興圏

【目指す姿】

東日本大震災津波からの復興を着実に進め、その教訓を発信し、新たな交通ネットワークや様々なつながりを生かした新しい三陸の創造により、国内外に開かれた交流拠点として岩手の魅力を高め、広げていく地域

行政経営の基本姿勢

県は地域を担う主体の一つとして、推進力となる人と人、人と地域資源をつなぎ、県民一人ひとりが主役の地域づくりを支え、岩手全体の底力を高め、地域の力が最大限発揮されるよう県民とともに歩む行政を目指していきます。

また、復興の過程で学び、培った経験をもとに、県民一人ひとり、そして社会としてお互いに幸福を守り育てるとともに、広く県外に向けて誇れる岩手の実現を目指し、行政経営の質の向上に取り組みます。

以上の認識のもと、県民の信頼に応える、より質の高い行政経営を進め、この計画に掲げた政策の実効性を高め、東日本大震災津波からの復興と「希望郷いわて」の実現に貢献していきます。

目指す姿

県内外の様々な主体と協働し、岩手県民が相互に幸福を守り育てるとともに、広く県外に向けて幸福を守り育てる機会を提供することができる岩手の実現

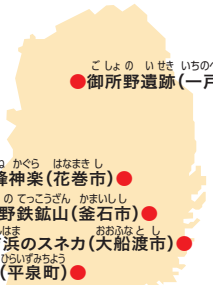
「4本の柱」と取組方向

1 地域意識に根ざした県民本位の行政経営の推進

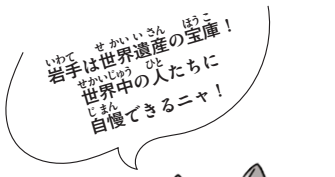
2 高度な行政経営を支える職員の能力向上

3 効率的な業務遂行やワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境の実現

4 戦略的で実効性のあるマネジメント改革の推進



いわてのイイね！



いわての歴史・文化

岩手の歴史が育んできた数々の遺産は、世界的に価値のある希少なもの。
先人たちが受け継いできた歴史・文化をしっかり学び、
大切に守っていきましょう。

平泉―仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群―

（世界文化遺産）

浄土思想に基づいて造られた寺院・庭園などの遺跡が良好に保存されていることから、2011年に世界遺産に登録。中尊寺、毛越寺など、5遺跡等で構成されている。

早池峰神楽

（ユネスコ無形文化遺産）

大償と岳の2つの神楽座からなり、500年以上の伝統を誇る希少な神楽。国の重要無形民俗文化財であり、2009年にはユネスコの無形文化遺産に登録された。

橋野鉄鉱山

（明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業／世界文化遺産）

近代製鉄の父と言われる大島高任の指導により建設された、現存する最古の洋式高炉跡。製鉄産業の近代化を象徴する遺跡として、2015年に世界遺産に登録された。

吉浜のスネカ

（来訪神：仏面・仮装の神々／ユネスコ無形文化遺産）

鬼とも獣ともつかない面をつけた「スネカ」が家々を訪れ、怠け者を戒める小正月の行事。2018年に「来訪神：仏面・仮装の神々」としてユネスコの無形文化遺産に登録。

一関・平泉地域のもち食文化

（和食：日本人の伝統的な食文化／ユネスコ無形文化遺産）

古くから独自のもち食文化を育んできた、一関地方。この食文化が、2013年にユネスコの無形文化遺産に登録された「和食」の一つに認定。世界にその価値を広く知らしめた。

御所野遺跡

（北海道・北東北の縄文遺跡群／世界文化遺産候補）

縄文時代中期の集落遺跡で、計画的なムラの跡を確認できる貴重な遺跡。「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つとして、世界遺産登録を目指している。